

～社会正義への道～

2012-13 PUBLIC WAY



株式会社パブリック <http://www.public-g.com>

香川県観音寺市大野原町福田原241番地1
TEL:0875-57-1300 FAX:0875-57-1201

株式会社パブリック



この印刷物は、環境にやさしい「ノンVOCインキ」と「FSC認証紙」を使用し、「水なし印刷」で製作しています。

1,500部作成のための総排出量 792,903kg-CO₂ 1部あたり529g-CO₂
この印刷物から発生するCO₂はカーボンオフセットジャパン(www.co.jp)を通じてオフセットされています。



株式会社パブリック

「パブリック」とは “社会正義”という 意味なんだよ。

元日本弁護士連合会会長
中坊公平先生 談
(1995年12月10日)



PUBLIC

Contents

編集方針 / 対象範囲 / 環境方針	02
【特集①】 CSR特別企画 EDO プロジェクト	03
I 環境マネジメント	05~10
会社概要・沿革 / 経営理念	05
車輛紹介	06
パブリック・グループ業務内容紹介	07
パブリック事業拠点と一般廃棄物対応エリア一覧 / 産業廃棄物許可一覧	09
【特集②】 これがパブリック丸亀事業所だ！	11
II 環境負荷の低減	13~14
ISOの成果	13
マテリアルバランス	14
III 社会との関わり	15~20
お客様とのコミュニケーション	15
地域とのコミュニケーション	17
食品リサイクルの取組	19
チャンスコール(クレーム)とその対応 / みなさまの声	21
編集後記 / 本報告書の作成について	22

編集方針

- 環境省「環境報告書ガイドライン～持続可能な社会をめざして～(2007年度版)」を参考に作成しております。
- 当グループの社会との関わりやコミュニケーションに重点をおくものとして、その取組を中心に掲載しております。

「PUBLIC WAY」の対象範囲

対象期間

2011年9月～2012年8月
但し行政報告数値などは2011年4月から2012年3月となっております。また、ユーティリティ数値およびそれに基づくCO₂排出量は2011年1月～12月でまとめています。

対象組織

株式会社パブリックおよびグループ会社
一部指定管理先も含まれます。

報告範囲

当グループ事業における環境的側面と社会的側面についてご報告致します。

環境方針

当グループは、使命感「未来創造・ラブアースマインドーPUBLIC」の基本理念に基づき、当グループの事業活動を通じて環境を配慮した活動を展開し、環境保全に貢献します。

1. 廃棄物処理・リサイクル・各種サービス等の事業活動に関わる環境影響を把握し、廃棄物の適正処理とリサイクルを推進することにより、環境汚染の予防に努め、環境負荷の低減に取り組みます。
2. 事業活動の環境側面に関連する適用可能な法的要求事項、及び当グループが同意するその他の要求事項を順守します。
3. 環境方針を達成するため、当グループの環境目的及び環境目標を設定し、これを達成する各部門毎の実施計画を策定し、実行します。
4. 環境マネジメントシステムの定期的な見直しを行うことによって、継続的な改善を図ります。
5. この環境方針は、全従業員に周知徹底し、環境への意識向上を図ると共に、組織のために働くすべての人に周知し、環境方針の理解と協力を要請します。



この環境方針は広く一般に公開します。
2005年12月1日 パブリック・グループ



特集1

江戸時代はエコ時代 **ECO・DO!**

パブリックエドプロジェクト

なぜ江戸なのか？

— 10年後のパブリックを見据えて —

はじめに

新プロジェクトの目的は、ひとことで言うと、株式会社パブリックのエコブランド化です。パブリックといえば「エコ」と社会全体から認知されることを目的としています。そして、これは、十年後のパブリックを見据えて、社員全員で取り組むプロジェクトでもあります。

では、今なぜ新しいプロジェクトが必要なのでしょう。

パブリックの社会正義

わたしたちは、静脈産業の一翼を担うものとして廃棄物処理から食品リサイクルまで、地球環境保全のためのさまざまな取り組みをしています。こうした取り組みの背景には、常に「パブリックの普遍的テーマである「社会正義」がありました。

社会正義とは、ひとことで言えば、社会のために役立つ、ということです。企



「売り手よし、買い手よし、社会よし」
三方よしの精神

業においては、売り手よし、買い手よし、そして社会よし、という近江商人の三方よしの精神に、社会正義をみることができま

す。一方、社会は常に変化しています。社会正義も、いつの時代にも変わらない普遍的な正義と、時代に応じて変わらなければならないものがあるはず

です。三方よしの精神は、いつの時代にも変わらない正義といえるでしょう。では、これからの時代、10年後のわたしたちに求められる社会正義とは何

背景:価値観の転換

20世紀は、アメリカ資本主義による大量生産・大量消費、使い捨ての時代でした。多くの日本人が、アメリカのような物質的な豊かさを求めて生産と消費を繰り返してきた結果、今、日本は深刻なごみ問題を突きつけられています。

日本の人口は1億2500万人、アメリカの約3分の1です。それに対し、面積は25分の1しかありません。その上、毎年7億トンの物資を輸入し、7千万トンしか輸出のない日本は、毎年、数億トンの物資を国内に残している計算になります。この小さな日本に、ごみがあふれるのは当然です。また、これは日本だけの問題ではなく、地球上の全人類がそのまま先進国並みの生活を続けようとするれば、地球が6個いる、ともいわれています。

こうした時代への反省とともに、今、リサイクル社会、循環型社会への転換



が地球規模の問題として大きく叫ばれています。

使い捨てからリサイクルへ

加えて、日本においては3・11東日本大震災以降、価値観に大きな変化が起こっています。目に見えるものから、目に見えない大切な何かへ。物質的な豊かさから、精神的な豊かさへ。自然を壊す化石エネルギーから、環境に優しい再生可能エネルギーへ。使い捨てから、もったいないへ。パワーから、智恵へ。

このような背景の中、現代を生きるわたしたちに求められている社会正義とは、まさに「5R」の実践なのです。

5Rとは

- 1 リユース 再使用 繰り返し使う
- 2 リデュース 減らす ごみの発生抑制
- 3 リサイクル 再資源化 ごみの再生利用
- 4 リペア 修理する 直して使う
- 5 リフューズ 拒否 ごみになるものを買わない

なかでも、わたしたちパブリックの社会正義は、「リサイクル」を推し進めることによって、循環型社会の実現に貢献していくことにほかなりません。

十年後のパブリックのあるべき姿として、わたしたちは、あらゆる資源の再生をめざすリサイクル企業でありたいと考えました。

そこで、「リサイクル=循環」をキーワードにパブリックのエコブランド化

を企画しました。題して「EDOプロジェクト」。コンセプトは「江戸」です。

リサイクル都市「江戸」

江戸はかつて世界最先端のリサイクル都市でした。ごみを減らすためにリサイクルをするのではなく、「ものを大切に最後まで使いつくす」という考え方が自然にリサイクル社会をうみだしていました。

たとえば、すり減った下駄の歯の部分だけを交換してくれる「下駄の歯いれ屋」、鍋や釜などの金属製品を修理する「いかけ屋」などはさながら、江戸のエコの専門家、「エコ職人」たちでした。

また、江戸時代の日本では、家庭のかまどの灰まで、次のエネルギーにリサイクルするシステムが出来上がっていました。「灰買い」という業者から、それぞれの産業へ灰が売られ、農業では肥料に、製造業では酒の製造、やきものの釉薬、染色や和紙の製造にも灰は欠かせない材料として使われています。つまり、かまどの廃棄物である灰は、次の産業の材料として再資源化され、現代でいう「リサイクル」を実現していたことになりました。

キーワードは「温故知新」

すでに今でいうリサイクル社会だった江戸時代。この歴史に学び、現代への活用を探る、それが「EDOプロジェクト」の基本コンセプトです。ただし、これは単なる復古主義や、江戸へ帰ろう運動ではありません。江戸のリサイクルに、日本古来の智恵や工夫、もったいない精神を学んだ上で、現代のエコ・テクノロジーの技術によって、未来につながる新時代のリサイクル都市をつくりだしていくこと。それがEDOプロジェクトの目標です。

つまり、ふるきをたずねて新しきを知る温故知新のプロジェクトです。そしてそれは、過去から学んだ智恵を現在に生かし、未来創造につなげていく。現在・過去・未来をつなぐ循環プロジェクトでもあります。

EDOプロジェクト

「リサイクル=循環」をキーワードにエコブランド化を企画。コンセプトは「江戸」です。



ECO・Do!

さらに、EDOプロジェクトの「EDO」には、もうひとつ、「ECO・Do! (エコの実践)」という意味もこめられています。わたしたちパブリックは実行力のあるリサイクル企業をめざしていきます。



PROJECT パブリックエドプロジェクト PUBLIC-G.COM

シンボルマーク

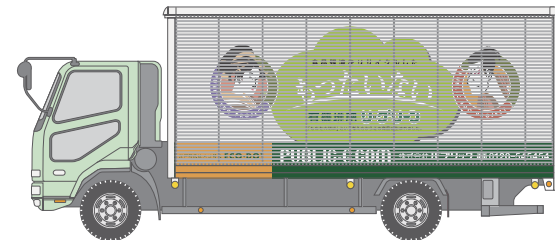
パブリックの考え方やエコへの取り組みを広く社会に訴求し、同業他社との明確な差別化を図るためのシンボルマーク。江戸を代表する歌麩、北斎、写楽のビジュアルイメージで江戸と現代を繋ぎ、また「EDO」3文字をそれぞれ2色に分け「循環(リサイクル)」を表現しています。

シンボルマークの展開

現在「有機堆肥リ・グリーン」や食品資源収集車にEDOプロジェクトをデザイン展開しています。



●有機堆肥リ・グリーン



●食品資源収集車

「モノを大切に」考え方が自然にリサイクルを生みだした江戸。

パブリックは現代のリサイクルを江戸に学びます。

会社概要・沿革

会社名	株式会社パブリック
本社	香川県観音寺市大野原町福田原241番地1
電話	0875-57-1200
資本金	3,000万円
グループ年商	37億円
従業員数	280名
沿革	昭和48年5月 一般廃棄物収集運搬業開始 昭和52年7月 産業廃棄物処理業開始 平成7年1月 有限会社パブリック 設立 平成14年8月 ISO14001認証取得 平成19年9月 株式会社パブリックへ商号変更

主な事業内容	一般廃棄物収集・運搬・処分 産業廃棄物収集・運搬・処分 特別管理産業廃棄物収集・運搬 廃棄物再生利用 特殊肥料生産
財務状況	財務諸表については「産業廃棄物処理業者の優良性の判断にかかわる評価制度」に基づき、貸借対照表と損益計算書を産廃情報ネット*に公開しています。 *http://www.sanpainet.or.jp/index.cfm

経営理念

● 信念

PUBLICとは社会正義なり。

私達は社会正義[Public Way]を全うします。

私達Public Manは人類として地球に生を受けた事に感謝し、立派な日本人、社会人、企業人、家庭人一人の人間として、社会正義への道[Public Way]を目指す事を天命と自覚し邁進します。

● 我社の使命感(存在意義)

使命感「未来創造・ラブアースマインド・PUBLIC」 未来とは社会正義溢るる将来、未来を作り出します。地球を大切に思い、愛し、地球の静脈を守り、管理し、地球の最高の管理責任者である人類としての役割を全うする、立派な会社として社員を育て練磨し、お客様及びすべての関係者に愛され、頼りにされる会社になる事を天職と信じ、パブリックな会社になる事に邁進します。私達は地球静脈防衛軍!!

● 経営方針

私達は社会正義経営を約束します。

私達は現在業務(地球静脈管理コストのマネジメント)を天職と信じます。社会性(天道)、人間性(人道)、経済性(公道)を保ちます。その道を極めた「極人軍団」を組織し、全員営業体制にてお客様を開拓し、そして守ります。最高の商品、サービスを低価格で提供すべくE.L.P(everyday low price)・E.L.C(everyday low cost)・E.H.M(everyday high management)を約束します。

● 行動指針

私達はPublic Manとして社会正義に基づきパブリックな行動をします。訓練、研修を怠らず、天を信じ、自己の能力を最大限に発揮し、周囲の人々を幸福にします。親孝行を忘れず、年長者を尊敬し、心と、体と、頭脳と、企業と、地球の健康に留意し、自己管理を徹底します。挨拶、返事、履物を揃える、元気なPublic Manになります。万事五分、人生五分を理解し、3C(チャンス、チョイス、チャレンジ)精神で断行します。

様々な車両で、多種多様な廃棄物に対応しております。



塵芥車 (大型)1台 (中型)64台



コンテナ脱着車 (大型)6台 (4t)14台 (2t)4台



キャブオーバー車 (大型)1台 (軽トラ)5台



移動式クレーン車 (4t)1台 (2t)1台



冷蔵冷凍車 (4t)2台



高圧洗浄車 (中型)1台



PCB運搬車 (大型)1台



クレーン付車(ヒアブ) (中型)1台 (4t)1台



ウィング車 (大型)1台



バキューム車 (大型)2台 (4t)2台



ダンプ (大型)4台 (2t)1台



医療廃棄物車 (中型)1台



パネルバン (4t)7台 (2t)3台 (軽トラ)2台



ドレスアップカー EDOバージョン



スタッフ
ボイス!



松山事業所 エミフルMASAKI勤務
古用 陽平さん

エミフルMASAKI内での別館収集、各テナントへの分別、計量の指導を行っています。大型店舗での34品目という細かい分別にとまどわれることもありますが、スタッフ一同、助け合いリサイクル率向上を目指しています。今後も地域のリサイクル分別の意識向上に役立てよう頑張ります。



スタッフ
ボイス!



本部事業所 総務部
野村 豊樹さん

私の所属する総務部のキーワードは「人・金・情報」です。人とお金と情報を仕入れて、それぞれを十分に「活かす」方法を考えるのが総務部の重要な仕事です。目立つ業務ではありませんが、縁の下の力持ちとして会社を支える存在になれるよう頑張っています。

パブリック・グループの業務内容紹介

収集運搬

感染性廃棄物、PCB、引火性廃油、廃石棉(アスベスト)など、特別管理産業廃棄物や産業廃棄物、一般廃棄物を様々な車両を用いて、多様品目、多彩な状況に適切かつ迅速な対応をいたします。



コンテナ脱着車

塵芥車

ウイング車

移動式クレーン車

バキューム車

一般廃棄物収集運搬

四国全域で60台を超える車両が、365日休まずにゴミを回収しております。約4000件にものお客様のニーズにお応えできるよう、PSSMD教育を受けたドライバーがお伺いします。

産業廃棄物収集運搬

産業廃棄物から感染性廃棄物やPCB廃棄物、廃石棉などの特別管理産業廃棄物の収集運搬許可を取得しており、さまざまな車両を用いて、多彩な状況に適切かつ迅速な対応をいたします。

ベンリー事業

お引越しからお部屋の清掃、水廻りのトラブルなど、そんな皆様の様々なお困りごとを解決するサービスです。専門のスタッフが駆けつけ、あらゆるご要望にお応えします。



ベンリー



マンション等の維持管理工事
レスキュー対応

エコステーション提案・管理

スーパーの駐車場や公共施設等に市民の皆様がいつでも利用できる資源回収スポットです。古紙や空缶、ペットボトル等の資源を回収再資源化します。回収ボックスを設置するだけの簡易タイプからポイント券も発行できる機材を設置したタイプまで、お客様のニーズにお応えいたします。当社は世界No.1ブランドTOMRA(ノルウェー)の四国地区総代理店です。



簡易タイプ

ポイント券発行タイプ

排水処理システム

様々な車両、装備を用いて、排水周りの業務に適切かつ迅速な対応をいたします。ご紹介している業務以外についてもぜひご相談ください。

管内検査システム

管内検査TVカメラで、内部から検査し施行検査並びに侵入水やクラックピンホール等のトラブルを未然に防ぐことができます。



管内検査TVカメラ

高圧洗浄車



汚泥ピットの清掃

グリストラップ清掃



浄化槽点検

排水処理施設点検

一般・産業廃棄物処分量 / リサイクル

ご紹介している業務の他、様々な品目や処理方法に対応しております。



木チップ製造・販売

RPF製造・販売、
固形燃料への再生

再生砕石製造・販売



選別処理施設

蛍光灯破砕処理

廃棄物の持込受付

チェーン店等の複数拠点の廃棄物一元管理

複数拠点の廃棄物の窓口が、一つになることで事務作業等の効率化、コストカットに。

計量証明事業

有限会社ヴェインは、自然環境と人間が共生する循環型社会を目指す一環として、平成18年に香川県知事登録を受け、計量証明事業を立ち上げました。(環境第23号)各種工場の排水・工程水、浄化槽排水、最終処分場などの様々な水の分析を行っています。また廃棄物の性状検査・有害物検査・土壌検査・ダイオキシン類測定・河川調査なども取り扱っています。環境を数値で表したいことがありましたら、なんでもご相談ください。



株式会社パブリック

(有)ヴェイン

(有)丸亀リサイクルプラザ

秋の湯

指定管理業務

健康交流施設おおのほら「秋の湯」では、レインボージャグジーと2種類のサウナ、露天風呂でリラックス。お風呂の後は、お食事処「萩乃華」で地元食材やパブリックオーガニックファームの卵、野菜を使った料理を御賞味ください。



建設事業部

ご紹介している業務の他、廃船処理や樹木除去、ソーラーパネルの除去等、様々な作業に対応します。



アスベスト除去作業

解体工事

焼却炉解体

万全な装備と、丁寧な作業で除去から処分まで安心です。迅速かつ丁寧に作業いたします。

食品リサイクル

食品リサイクル法の施行以来、年々高まる食品廃棄物のリサイクルへの要求に応えるべく「丸亀リサイクルプラザ」では、選別、発酵乾燥、破砕、堆肥と様々な処理法を駆使し、より高い再生利用率を目指しています。



発酵乾燥機

オーガニックファーム
自社農場で堆肥の効果を裏証

食品リサイクルから
生まれた堆肥「リグリーン」

これがパブリック丸亀事業所だ!

一般廃棄物、産業廃棄物、
食品リサイクルまで幅広く対応!

丸亀事業所の各部門

一般廃棄物収集運搬部門

丸亀市、普通寺市、多度津町、琴平町、まんのう町の一般廃棄物の収集運搬を行っています。

産廃物流部門

コンテナ設置、引き上げ積み込み業務を中心に社内間搬出も行っていきます。

産廃部門

中間処理、積保の業務を行っています。

総務・事務

お客様の持ち込み対応(計量)マニフェスト対応を主にしています。

トラックスケール(計量機)

まずは、こちらにお乗りください。そして受付へ!



受付

いつも明るい笑顔で皆様をお待ちしています。

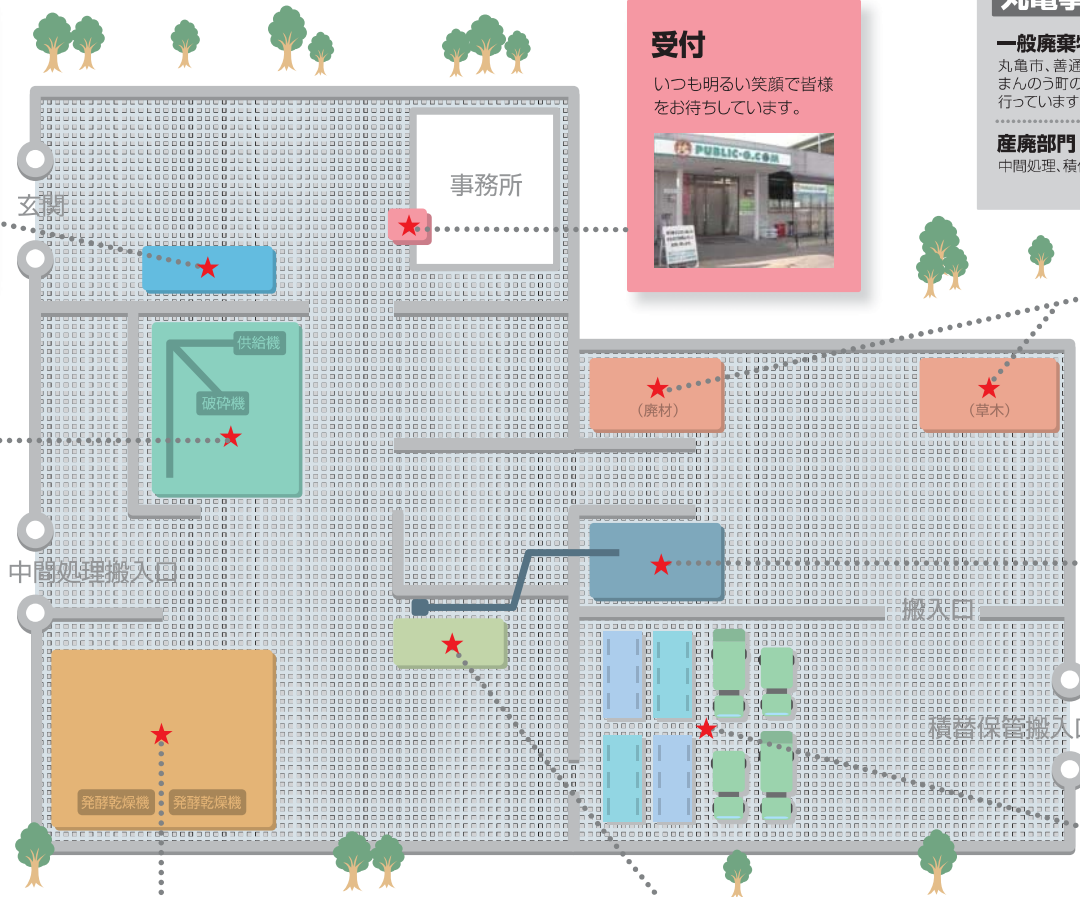


選別ライン施設

持ち込まれた品物については全量人員による手選別を行っています。



月間製造量
約230t



積替保管

積替保管については、本社選別ライン、本社破碎で処理を行っています。

処分後保管施設

破碎した木くずは、丁寧に異物を取り除きます。その後、熱原料や再生商品の原料として出荷されます。



車両・コンテナ置き場

皆様のごところにお伺いする収集車両やコンテナを置いています。



月間製造量
約250t
~
300t

破碎施設

主に木くずを破碎する、二軸破碎機です。毎日大活躍しています。



ようこそ!
パブリック丸亀事業所へ!!



丸亀リサイクルプラザ オーガニック事業部

丸亀リサイクルプラザ丸亀工場では、主に選別作業と発酵乾燥処理を行っています。限りある有機性廃棄物を最大限に活用するために、飼料にできるものは飼料に、肥料となるものは堆肥化に選別しています。ここがパブリックグループ食品リサイクルの最前線です。



ISOの成果

本社工場のLED化が推進されています!

24時間操業をしている本社固形燃料製造施設は、電力の削減を課題として取り組んでいます。2年前から施設電灯の半分をLEDに変更しています。残り半分も年内にLED化することにより本社工場はすべてLEDになります。1kw水銀灯から160wのLEDに変更していますので、大幅な電力削減が見込まれます。



全事業所の蛍光灯にプルスイッチを設置

今までは事務所に人がいなくても、電気が点灯していた状態でした。エネルギー削減の意識を全員が持つため、こまめに電気を消します。些細なことに手をぬかず、小さなことからコツコツと!



デジタコ 運転日報

車両管理システムを導入

デジタコドライブレコーダー計量システムを活用しています! 安全性と効率のいい作業環境を整えるため、デジタコによる運行管理やルート表示を行っています。また、計量システムによる正確な計量を行い、日報作成や過積載防止に役立っています。安全運転向上のためのドライブレコーダーを搭載し、万一の事故やエコドライブの推進にも利用しています。この他にも当社ではPSSMD(パブリック・スーパー・セールス・

マネジメントドライバー)教育が行われており、皆様のお役に立つドライバーとして、日々勉強しております。安全については、日本TOP物流企業の幹部OBによるドライバー研修、安全講習会を実施しています。



安全講習会

新型破碎機導入

本社PPF施設に破碎機を導入。専用モーター、インバーター制御により無駄な電力を抑え、さらに負荷の変動にも対応しているため、効率のいい破碎工程がおこなわれています。車でいうところの「エコカー」(低燃費)ですね。



スタッフ
ボイス!

本部事業所 建設事業部
黒川 陽子さん



家屋の解体なんて何度も経験するものではありません。お問い合わせ頂いたお客様の疑問や不安を少しでも取り除けるよう、心掛けています。また事業部一同、お客様のお気持ちを踏まえて大切な思い出のある建物の解体作業を行うよう精進してまいります。

スタッフ
ボイス!

丸亀事業所 一般廃棄物事業部 班長
佐藤 利哉さん

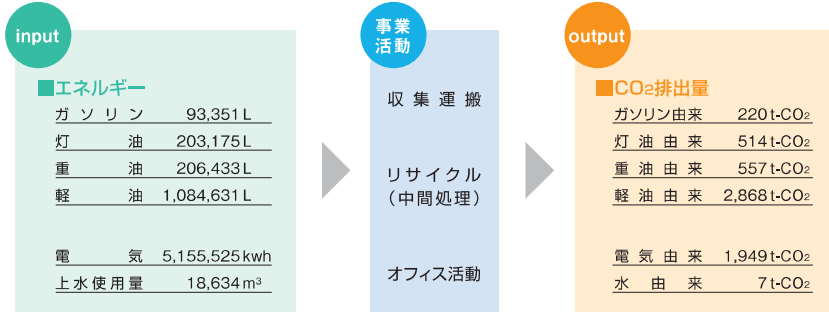


我が社の使命感である「未来創造・ラブアースマインド」を意識し、次世代の皆様の良い環境で暮らしやすい社会を感じて頂くために、リサイクル精神を忘れず日々精進してまいります。

マテリアルバランス

パブリック・グループの事業活動である収集運搬・中間処理およびオフィス等で使用した資源のinputと環境への排出量outputを表しています。

■電気使用量/水資源使用量:平成23年1月~12月の集計数値 ■燃料使用量:平成23年4月~平成24年3月までの集計



産業廃棄物収集運搬(特管)量と処分量

平成23年4月1日~平成24年3月31日まで
※代表的な施設のみの掲載です



産廃運搬量 **35,870t**

産廃受入量 **46,007t**

お客様とのコミュニケーション

CM放送

昨年度よりユニークなCMを放送して、お客様に親しみを持って頂けるように取り組んでいます。昨年度のCM「早口言葉編」はACC CMフェスティバルで中国・四国地域ファイナルに進出いたしました。その前作を超える作品を目指した本年度のCMは、初のアニメーションで8月より放送中です。お子様にも、当社キャラクター「アースタイガー」のアニメCMは大変好評です。



パブリック通信

2ヶ月に一度、社内の編集スタッフで会社報「パブリック通信」を作成して、お客様に送付させて頂いております。当社の食品リサイクルから作られた堆肥「リ・グリーン」を使用した試験農場「パブリック・オーガニックファーム」の近況をはじめ、廃棄物に関する最新情報、社内ニュース、ご挨拶など、最新の情報を発信していきます。抽選でプレゼントが当選するコーナーも好評です。ぜひ、皆様も一度ご覧になって下さい。



有明浜清掃

当社のお客様であり、協賛させて頂いております、香川オーリーブガイナーズさまの有明浜清掃に協力しています。毎年行われる清掃活動で、地域のボランティアの皆様も大勢参加して、たくさんのゴミが集まります。地元の美しい浜を維持する為に、今後も協力して参加させていただきます。この他にも、各エリアで清掃活動やボランティアに参加しています。



謝恩セミナーの開催

3月に佐藤泉法律事務所 佐藤泉先生、船井総合研究所 貴船隆宣氏をお迎えし「廃掃法実務と再資源化の手法」をテーマに、弊社のお客様を招待して廃棄物セミナーを開催致しました。常にお客様に最新の廃棄物業界の情報を提供できるように、定期的に開催していきます。



「船井総合研究所」貴船隆宣氏 「佐藤泉法律事務所」佐藤泉先生



100名近くのお客様に参加いただきました

持ち込みのお客様対応

お持込にご来店頂いたお客様に、感謝の気持ちを込めて、少しでも暑さや疲れが和らぐようにジュースやお菓子を準備しております。また、月に1度はパンの日としてお客様にパンをサービスし、ご好評頂いております。パレタインにはチョコレートを感謝の気持ちを込めてお渡ししました。お客様がお仕事の合間で、ほっと笑顔になれるように、サービス向上に努めてまいります。



ジュースやお菓子などを用意

感謝を込めたパレタインチョコ

お待ちしております

スタッフ
ポイス!

四国中央事業所 工場長
三鍋 和洋さん



四国中央市を拠点に、一廃・産廃の収集運搬・中間処理業務を行っています。中間処理施設として、切断機・破砕機・溶融機の施設があり、今後も処理施設を活かして、お客様のご要望に応えられるよう、環境負荷低減を目的としてお客様の満足度向上と地域社会へ貢献できるように頑張ります。

スタッフ
ポイス!

本部事業所 開発事業部
山口 佳代さん



施設の設備・車両変更等、会社運営で重要な申請書の作成をしています。廃棄物処理法という法律の勉強をしながら、現場の方と話し合い、申請書を作成した上、行政へ提出に行きます。少しでも早く許可証を入手するために、申請は充分な計画のもと作成し、施設設置申請に関しては、現場の方が少しでも早く施設稼働ができるよう、心がけています。

地域とのコミュニケーション

エコステーション

今夏、10箇所目のエコステーションをオープンしました。ご家庭で不要になった古新聞・空缶・ペットボトルをリサイクルするために回収しております。協力していただけるショッピングモールやスーパー様の店頭で設置して、お買い物ついでに常時不用品を捨てられる利便性から、お客様に大変ご好評を頂いております。ボックスを置くだけの簡易タイプから、最新の破砕機を搭載したポイントの付けられる回収機（RVM）まで、様々なニーズにお応え致します。



「エコステーション」の利用促進、利便性向上を目指して!

オープンや開設記念などにはイベントを開いて、施設側と協力して、お客様にご利用促進をはたらきかけています。ポイントが貯めるタイプの機械を設置してある所は、ご利用者様もポイントが貯める楽しさと、環境活動に参加されている意識の向上に繋がっています。



6月には徳島県の大型ショッピングセンター様で西日本初となる古紙・ペットボトル・空缶の3品目でポイントが付加される、複合リサイクルステーションがオープン!! 地域の環境活動・お客様の利便性向上を目指して、四国に100箇所設置を目標にしています。

スタッフ
ボイス!

本部事業所 物流部

秋山 恭範さん



医療廃棄物の収集業務を行っています。医療廃棄物には感染性の物もあり、特に注意して取り扱わないといけないので、運搬作業時に飛散・針刺し事故等をおこなさないように細心の注意を払って日々の業務をしています。また、お客様と接すること多い仕事なので、笑顔や大きな声での挨拶を心がけています。法に大きく係る仕事なので、一日でも早く覚えられるように努力していきたいと思っております。

スタッフ
ボイス!

本部事業所 販売管理

小西 文さん



平均年齢25歳!の販売管理部で、売上や請求書、電子マニフェストの仕事をしています。コンプライアンスの面からも重要な部なので、知識と笑顔、そしてお客様への感謝の気持ちを忘れずに日々頑張ります。(ちなみに、最年長ですw)

工場見学

地域の皆様に廃棄物処理の取組みを知っていただくため、リサイクル工程の説明や処理現場を実際に見ていただく工場見学を承っております。地域に開かれたパブリックを目指し、これからも続けていきます。



地域の皆様に収集されたゴミの処理工程をスライドにて説明の後、処理現場を実際に案内致します。



学校単位の社会科見学も承っております。小学生の皆様でも分かるように丁寧に解説後、現場へご案内致します。お気軽にお申し込みください。



地域清掃への参加

地域の清掃活動に参加させていただいております。草刈、溝掃除、不法投棄除去など地元の方々と共に汗を流しました。



地域の皆さま、
ありがとうございました!

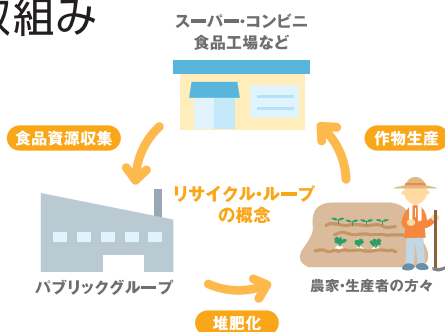


食品リサイクルの取組み

パブリック・グループは食品循環資源リサイクルに力を入れています。

その根源はリサイクル・ループの考えにあり、有機性の食品循環資源は、堆肥や飼料として、もう一度世の中で役立だって欲しいという取組です。

既存の堆肥化事業に加え、飼料化にも取り組んでまいります。



有機堆肥リ・グリーンの袋が新しくなりました。

平成24年より、有機堆肥リ・グリーンのデザインを一新しました。食品循環資源を「もったいない」の精神でリサイクルしている気持ちを全面に出しています。また、袋の中が見えるように透明フィルムを採用し、初めての方も安心してご購入頂けるようになりました。



スタッフ
ボイス!



高松事業所 営業部 係長
大町 一玄
私は営業職として日々、様々な業種のお客様の元を訪問させて頂いております。出てくる廃棄物の種類も、発生状況も様々で毎日が真剣勝負。お客様のご要望に応えつつ、リサイクルすることを第一義に考え、対応させて頂きます。お困りのことやご相談等ございましたらお気軽に声を掛けて下さい。

スタッフ
ボイス!



本部事業所 中間処理 選別ライン 班長
大平 秀和さん
私の仕事は、お客様が排出された廃棄物を分別することです。PPFの原料の紙・プラスチック類、チップの原料の木はもちろん、金属類、アルミ缶、ペットボトル等の選別を行っています。月間処理量5,000m³、リサイクル率70%を目標に四国No1の選別施設を目指して日々頑張っています!

パブリック・オーガニックファーム

パブリックオーガニックファームは、自社製品「有機堆肥リ・グリーン」の試験農場として、2009年からはじめた取組みです。葉物野菜や根菜類、花や果樹まで、様々な植物に有機堆肥リ・グリーンを施し、栽培をしています。採れた野菜たちは、弊社指定管理の「秋の湯」で販売、地域の皆様に安価でご奉仕させていただいております。「リ・グリーン」の肥効はもちろんのこと、最初は分からなかった農業の大変さや収穫の喜びを感じさせてくれる、今では重要な職場のひとつです。



オーガニックファーム



秋の湯では循環型社会産直市を開いています



有機堆肥リ・グリーンを常時在庫しています



ニワトリも飼っています



キャベツ



みかん



チュウリップ



サルビア

スタッフ
ボイス!



高松事業所 産業廃棄物部門 班長
林 修さん
物流部門として、ご家庭の片付けごみから、各企業様の廃棄物まであらゆる廃棄物を収集運搬しています。お客様のご要望にスピーディーに、的確に確実に業務を行っているように頑張っていきます。

オーガニック事業部のホームページ!



見やすく、そしてみなさまのお役に立てるようなウェブサイトを目指して、タイムリーな情報発信を心がけてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

<http://www.public-organic.com>

チャンスコール(クレーム)とその対応

パブリック・グループに寄せられたクレーム(苦情)を、私達は成長のきっかけとなるチャンスコールと捉えて、前向きに対処させて頂いております。ただ問題を解決するだけでなく、よりお客様にご満足いただけるよう心がけています。どんどんチャンスコール(クレーム)を命じてくださいますようお願いいたします。

■2012年8月末までにお寄せ頂いたチャンスコールの内容(抜粋)とその対応



自動車の運転中にトラックが急に近づいてきて怖かった。



➔

対応!



運転に関して専門の講師を招き、安全運転や周囲への配慮などについて指導を受けました。



ごみを持ち込んだら、計量器の調子が悪くて重さを量ることができなかった。



故障中

➔

対応!



計量器のトラブル時には別の工場で計量したり、コンテナに積替えて後日計量するなど、計量器トラブル時の対応を決定しました。

みなさまの声

過去の「PUBLIC WAY」に寄せられましたアンケートの中から、みなさまのご意見を紹介させていただきます。

●アンケートの意見を紙面に掲載してはどうか? (50代・女性)

「みなさまの声」のコーナーを新設しました! これからはアンケートの結果等充実させていきます。ありがとうございます。

●パブリック・グループはさまざまな仕事をしているが、業務内容を分かりやすくしてほしい。(40代・男性)

P7、P8業務内容を刷新しました! 図でパブリックグループの業務内容を表示してみました! この図はこれからもみなさまの意見や社内の意見を踏まえて、さらに改善していく予定です!



PUBLIC WAY | 編集後記 |

2012-13 社会正義への道

今回で4回目の発行となりました「PUBLIC WAY～社会正義への道～」。CSR(企業の社会的責任)とは、各社それぞれの考え方があります。製造業は、その製造した商品で社会貢献を行い、サービス業はそのサービスを通じて社会貢献を行います。廃棄物処理業という業種は、日々の業務すなわち、ごみの収集やリサイクルがそのまま社会貢献に直結する重要な仕事であると思います。

「PUBLICとは社会正義なり」

我が社で仕事する上で共通した認識であり、また我が社の持つ社会的責任であります。この言葉を胸に毎日の業務に取り組み、お客様から、地域の皆様から、また社会全体から必要とされ、信頼される「PUBLIC」であるために、これからも努力を重ねてまいります。

株式会社パブリック PUBLIC WAY 編集委員会

大谷一彦	藤井俊和	宇野茂共	茅窪靖士
宇野史恵	森脇英二	中田真理	川田知秀
三好弘樹	金崎伸二	鎌倉秀行	

2012年12月1日

本報告書の作成について

本報告書は「FSC認証紙(ミックス品)」と揮発性有機化合物(VOC)を含まない「Non-VOCインキ」を使用し、また有害廃液を出さない「水なし印刷」の技術を用いて印刷しております。できるだけ環境に配慮した印刷を試みており、ここではこれらの解説を致します。



水なし印刷

水なし印刷は、印刷時の現像液や印刷時の湿し水を使わず、廃液の処理や湿し水の製造にかかるCO₂もゼロになる環境にやさしい印刷方式。その水なし印刷による印刷物であることを認証し、製造過程で排出したCO₂を埋め合わせ(オフセット)、印刷物1部あたりのオフセット量を算出しました。



Non-VOCインキ

大豆油インキの植物性溶剤の比率が20～40パーセントに対し、「Non-VOCインキ」は、VOCの含有量を1パーセント以下もしくはゼロとなっています。大豆油インキ従来の溶剤に比べて、揮発性のない植物油(大豆油)の割合を増やした物です。従来のインキと比較すると、石油系溶剤を20～40パーセント減らせます。



FSC認証紙(ミックス品)

FSC認証林及びリサイクルされた木材や木材繊維からの製品グループです(第三者により検証されたポストコンシューマーリサイクル原料含有)。

本報告書は環境に配慮した印刷で作成しています。